

若松台小学校の学校適正規模・適正配置に係る地元代表協議会 第3回協議会 議事要旨

1 日 時 令和8年1月29日(木) 18時30分～19時35分

2 会 場 若松台小学校 図書室

3 出席者

- (1) 委員 12人
- (2) 事務局 6人
- (3) 傍聴者 8人

4 報告・協議

- (1) 各団体より報告
- (2) 協議に係る論点整理
- (3) 協議に係る留意点
- (4) 協議
- (5) 連絡事項等

5 会議資料

- (1) 若松台小学校の学校適正規模・適正配置に係る第3回地元代表協議会資料

6 議事の概要

(1) 【報告】各団体より

- ・事務局より、若松台小保護者説明会および若松台地区に未就学児をもつ保護者説明会が開催されたことが報告された。また、2月14日に地元説明会を開催することが報告された。
- ・若松台小PTA本部より、学校適正配置(案)に係る保護者アンケート結果が報告された。
- ・若松台1丁目自治会より、若松台小学校適正化に関する意向調査結果が報告された。

(2) 【協議】学校適正配置(案)の選択について

- ・事務局より、協議に係る論点や留意点が示された。
- ・協議に係る論点や留意点を踏まえた協議が行われた。
- ・協議の結果、「学校適正配置(案)を選択しない」という概ねの方向性が示された。

(3) 【その他】諸連絡

- ・第4回地元代表協議会については、令和8年2月下旬を予定しており、開催日時を調整次第案内することとされた。

7 発言要旨

(1) 開会

- 〈司 会〉 ただいまより「第3回若松台小学校の学校適正規模・適正配置に係る地元代表協議会」を開催する。
本日は、委員2名欠席。会長にご一任とのこと。
次に、本協議会の会長よりご挨拶いただく。

(2) 会長挨拶

- 〈会 長〉 本日はお忙しいところお集まりいただき感謝申し上げます。
寒い中、協議会に出席いただき感謝申し上げます。
議論の焦点が絞られてきていると考えている。本日は前向きな意見を出していただき、協議を進めていきたいと思う。よろしく願います。

(3) 各団体より報告

- 〈議 長〉 まず、「1 各団体より報告」についてまずは事務局に説明をお願いします。
- 〈事 務 局〉 【1月～2月実施の説明会等の概要を説明】
1月15日(木)、1月17日(土)に若松台小学校にて、保護者説明会を若松台小学校PTA本部と共催で実施した。
保護者説明会の内容としては、「地元代表協議における協議内容について」「学校適正配置(案)について」「これまでにいただいたご意見・ご質問への回答について」説明させていただくとともに、質疑応答も行った。2日間で延べ18世帯21名の参加があった。保護者説明会と同日に、未就学児保護者説明会も開催した。内容は、おおよそ保護者説明会と同じものとなる。延べ20世帯25名の参加があった。これらの説明会でいただいた主なご意見等については、この後説明を行う。
今後の予定として、2月14日(土)に若松台1丁目～3丁目の地元の方々を対象とした地元説明会を開催することをご報告する。主な内容としては、地元代表協議会における協議内容や、学校適正配置(案)について説明させていただく。
- 〈議 長〉 次に、他の団体からの報告はあるか。
- 〈若 松 台 小
PTA 会長〉 学校適正配置(案)について、1月に若松台小学校保護者にアンケートを実施した。若松台小学校の家庭数のうち9割以上の家庭から回答があった。
結果としては、過半数以上の家庭が反対であった。詳細については、このあと報告する。
- 〈若 松 小
保護者会長〉 保護者会の役員及び学校と話したが、「若松台小学校の意見を尊重したい」として、特段賛成・反対等の意見はなかった。
- 〈若松台1丁目
自治会長〉 若松台1丁目の全家庭に統廃合について意向調査をしたところ、「統合に賛成」が12票、「統合に反対」が47票であった。(委員へ配付した参考資料について一部修正したものを報告)
現時点での意見の聞き取りをしたところ、若松台1丁目においては反対意見が多かった。学校は教育を受ける場所以外にも地域のコミュニティの拠点としての役割もあるため、その点を踏まえて協議をしてほしいとの意見が多かった。

- 〈若松台2丁目自治会長〉 若松台2丁目としての意見はない。若松台2丁目の街路を見たところ、通学路の緑の表示が若松小の方に伸びていた。このことから、統合が決定したと考える。
- 〈若松台3丁目自治会長〉 若松台3丁目については若松台1丁目のように全家庭に調査を実施しているわけではない。2月開催の地元説明会を情報共有の場としてお知らせした。地元説明会の中で決を取ってもらいたいと思っている。なお、役員会は16名中3名賛成、13名反対。子どもがいる役員（1名）は賛成であったが反対が大勢であった。なお、細かい意見の吸い上げまでは行っていない。
- 〈事務局〉 協議会の内容の共有及び意見の吸い上げに感謝申し上げる。
若松台2丁目の自治会長より、統合が決定しているとの話があったが、決定していない。通学路の緑の表示については把握していない。統合するかしないかは協議会の中で導き出していくものと認識している。
- 〈若松台2丁目自治会長〉 3月22日に自治会の定例会があるので、その場で結果を報告したいと考えている。それまでに結論はでるのか。
- 〈事務局〉 今回と次回の協議会の議論による。

（４）協議に係る論点整理

- 〈議長〉 次に、「2 協議に係る論点整理」に進む。事務局に説明をお願いする。
- 〈事務局〉 【資料に沿って説明】
- 〈議長〉 事務局より、学校適正配置（案）を「選択する」場合、「選択しない」場合の利点や課題など、協議に係る論点が示された。この論点を踏まえて、本日の協議を進めていきたい。また、分校（案）について事務局の見解が示された。委員の皆様におかれましては、以上のことを踏まえて、引き続き説明を聞いていただきたい。

（５）協議に係る留意点

- 〈議長〉 次に、「3 協議に係る留意点」に進む。事務局説明をお願いする。
- 〈事務局〉 【資料に沿って説明】
- 〈若松台小PTA会長〉 若松台小学校保護者全家庭対象のアンケートの結果、家庭数の9割以上から回答があり、過半数以上が反対であったことから、若松台小学校保護者の意見としては反対となる。
- 〈以下の内容をアンケートの主な意見として報告〉
- 【学校適正配置（案）に賛成】
- ・遅かれ早かれ統合となるかと思うので統合の準備に時間を割いてほしい。
 - ・社会性やコミュニケーション・多様性に早くから触れられる環境で育ててほしい。
 - ・学区外通学する家庭が増えて同じクラスの子も転校してしまった。
 - ・クラスに同性の子が少なく、親として我慢していることが多いと常を感じている。
 - ・四街道市の区域外就学に賛成である。
 - ・多様な価値観の中で過ごす環境は将来への安心感につながるのではないかと。
- 【学校適正配置（案）に反対】
- ・通学距離が延びることや登下校の安全確保等について懸念している。
 - ・小規模校の良さを感じているのでこのままで良い。
 - ・学校が近いので家を購入した。
 - ・統合は時期尚早である。

- ・地域の高齢化に拍車がかかる。
- ・小学校の跡地利用が心配である。
- ・子どもが楽しく充実して過ごしている環境をわざわざ変える必要はない。このまま卒業させたい。
- ・路線バスでの通学には経済的な負担が大きい。

【多い方の意見に賛成】

- ・保護者の取組みの理解について、ほど遠いのではないか。
- ・自分の子が卒業のため、在校生の意見を尊重してほしい。

地区別児童数でみると、全校児童 92 名に対して多くの児童（44 名）が 3 丁目から登校。通学距離が延びることについて、安全面や熱中症の危険を懸念している保護者が多いようだ。

〈議長〉 それでは、留意点を踏まえつつ、学校適正配置（案）の選択について協議をおこなう。

（6）協議

〈議長〉 これより協議に入る。本日の協議の中で、ある程度方向性が絞りこまれることが想定される。その場合、いったん各団体に持ち帰り、次回の協議会で確認するという流れで考えている。では、ご意見をお願いします。

〈若松台小学校外指導〉 令和 12 年度～令和 13 年度あたりで複式学級になる推計とのことだが、現在の未就学児の子達が複式学級にあたる可能性がある。学校適正配置（案）を実施しないのであれば、対象となる方々への説明にもう少し時間を費やしてほしいと思う。

〈若松小保護者会長〉 若松小学校としては若松台小学校の気持ちを一番大切にしてほしいと考えている。アンケート結果を踏まえると、このまま統合して、良い統合にならないのであれば、もう少し考えた方が良いのではと思う。

〈若松小保護者副会長〉 両校が同じ方向を見ていないと良い結果にならないと思うので、若松台小学校の子どもや保護者の意見を尊重してほしいと思う。

〈若松中 PTA 会長〉 当事者の意見を尊重するべきと思うので、若松台小学校が統合したくないというのであれば、その意見を大事にしたら良いと思う。ただし、数年後、この人数になってしまうということは考えていく必要があると思う。小規模校の良さもあるし、適正配置校の大切さもある。統合したいと思ってもすぐにできるわけではないので、その辺も考えつつ協議をしていけたらと思う。

少人数だと心配、適正規模校に行きたいという家庭については、学区外承認申請で、どちらの学校も選択できるようにしてほしい。

〈若松中学校区青少年育成委員会副会長〉 令和 10 年度には新入生が 10 名だが、令和 11 年度には 3 名。令和 12 年度は少し多いようだが、令和 13 年度は 2 名との推計がでている。小規模校と適正規模校のメリット・デメリットを考えていく必要がある。住民の方に聞けば「今のままがいい」というのはわかっている。ただ、学校というのは人間形成の場である。今後の子ども達の将来のことを考えていくと、「環境の変化」「通学距離が長い」という課題はあるかもしれないが、若松台地区の子ども達のことを考えたら、基本的には統合はすべきなのではないかと思う。今やるのか、1 年後、2 年後、3 年後かはわからないが。あくまで私の考えではあるが、子ども達の成長というのを一番に考えていくべきだと思う。

- 〈若松台1丁目自治会長〉 小規模校だからこそ通わせたいという保護者もいる。1年生～6年生まで皆名前と顔がわかるため、公園に行くと学年関係なく遊んでいる。統合すると、こういうことができなくなるのではないかと思う。また、学校は教育現場だけでなく、地域コミュニティにおいて様々な役割を持っている。統合した場合には校庭や体育館は使えるのか。そこを地域は心配している。こういったことを質問しているのに明確に答えが得られない。それならば反対という形になる。加えて学校が統合した場合には過疎化が進むことも懸念している。学校が近いからこの近辺に家を購入したという人もいる。そういったことが若松台1丁目のアンケート結果につながっているのだと思う。若松台小学校区から若松小学校に学区外通学をしている子どもはいるとのことだが、若松小学校区から若松台小学校に学区外通学したい子もいるのではないかと思う。
- 〈事務局〉 学区外通学について、いくつかご質問ご意見があったのでお答えする。
本市では、お住いの区域によって通学する学校の指定を行っており、原則として教育委員会が指定した学校に通っていただくことになっている。
保護者の就労等により他校の子どもルームに入所する場合など、承認事由に該当する場合には学区外通学が認められる。
承認事由に該当すれば、若松台小学校区から若松小学校に通学、若松小学校区から若松台小学校に通学、どちらもあり得る。
しかしながら、少人数がよいですとか適正規模が良いなどといった学校規模による理由は、承認事由として認められておりません。
- 〈若松台2丁目自治会長〉 統合やむなしと考えている。小学校の適正配置というのは少子高齢化が原因。若松台地区に限ったことではない。(千葉市は今まで18校廃校)若松地区だけ残すというわけにもいかないであろう。
統合した場合には、通学路になるだろう場所には事故が多発しているカーブがあるため、安全のために路線バスで通学したい保護者が多いのではないか。通学支援がなくても、路線バスでの通学は可能としてほしいと思う。
- 〈若松台3丁目自治会長〉 一番大切にしなければいけないのは、在校生やその保護者、未就学児の保護者の意見だと思うが、それが数字として示されていないので何とも言えない。基本的に多い方の意見に賛成する。就学児童の数がいずれ減ってくるという事実はあるのかもしれない。そうすると、統合はいずれするのかなというのはあるが、今なのか来年なのかはわからない。あくまでも保護者の意向を大切にしたい。
- 〈議長〉 各委員より様々な意見が出ましたが、大勢としては学校適正配置(案)を選択しないとの意見が大勢を占めていたかと思います。
このことにつきまして、ご異論はございますか。
- 〈委員一同〉 異議なし。
- 〈議長〉 ここまでの協議を踏まえて事務局、何かありますか。
- 〈事務局〉 ご協議感謝申し上げます。若松台小学校の保護者の意向を最優先にしたいといった協議会の考えは承知しました。若松中学校区の地域の代表者の皆様で構成されている地元代表協議会で導きだされる結果については、事務局としてもしっかりと受け止めていきます。
- 〈議長〉 また、分校(案)については、事務局より分校とすることは考えていないとの見解が

あった。本協議会として要望を出すことを阻むものではないものの、実現性は低いものと思われる。若松台1丁目としても、分校化よりも現状の継続を望まれているという認識でよろしいか。

〈若松台1丁目
自治会長〉

異議なし。

〈事務局〉

分校は人員配置が通常の学校と異なる。例えば校長は本校と分校2校で共通となるため、配置されなくなる。分校となった場合には、児童数も教職員の数も大きく減少する。それらを含めて見解を示させていただいた。

また、1月の保護者説明会及び未就学児保護者説明会については、現状をご説明し、理解を深めてもらうことを目的としたものであったことから、賛否を数えてはいない。未就学の子をもつ保護者からは、「学校適正配置（案）があることを初めて知った」「統合は決定したことと誤解していた」という声も寄せられ、貴重な周知の場となった。また、「仮に統合した場合にはどうなるのか」という質問や意見もあった。保護者説明会においては、あくまで参加いただいた方の声ではあるが、統合に係る不安や、反対意見が多かったという認識である。

〈議長〉

本日の協議において、学校適正配置（案）を選択しないという方向性は見えてきた。ご協議感謝申し上げます。それでは、副会長に協議の総括をしていただきたい。

〈副会長〉

遅い時間までご協議いただき感謝申し上げます。協議において、学校適正配置（案）を選択しないという方向性が導き出されてきている。このことについて、各団体に持ち帰っていただき、可能な範囲でこの方向でよいかご確認をお願いしたい。次回、地元代表協議会としての結論を出したい。よろしく願います。

しかしながら、「将来的には統合は避けて通れないのではないか」という意見が、複数の委員からあったとおり、課題として認識いただきたいと思う。

〈議長〉

ここで、本日の議長の任を解かせていただく。

（7）連絡事項等

〈司会〉

真摯な協議、感謝申し上げます。協議を踏まえ、事務局から一言願います。

〈事務局〉

過去2回の協議会、そして本日の協議、改めて感謝申し上げます。副会長より、本日の協議内容について各団体への報告及び確認のお願いがあった。このことについて、事務局からも重ねて確認させていただく。本日、学校適正配置（案）に対して通学等の環境や地域への影響に不安を抱かれている方が多いことから「学校適正配置（案）を選択しない」という概ねの方向性が共有された。

一方、仮に「学校適正配置（案）を選択しない」結論になるということは、学校規模の改善を期待していた人の声には応えることができないこととなる。いずれの選択をするにしても、今の若松台小学校の子どもだけでなく、若松台地域全ての子ども、将来生まれてくる子どもを含めた地域の将来に関わる重要な判断となる。子ども達により良い教育環境づくりを中心に、地域の実情を踏まえ、各団体としてご判断いただき、若松台中学校区の代表者で構成するこの地元代表協議会で地域の意向を取りまとめいただければと考えている。次回の地元代表協議会において導き出された結論に対しては最大限尊重させていただく。引き続きよろしく願います。

〈司会〉

最後に、連絡事項等に進む。

〈事務局〉 本日は、感謝申し上げます。次回、地元代表協議会の前に、2月14日（土）に若松台1丁目～3丁目の地元の皆様を対象に、地元説明会を開催する。事務局としても、「学校適正配置（案）を選択する場合」「選択しなかった場合」それぞれの利点と課題について改めて説明させていただく。その上で、次回地元代表協議会において、本日の地元代表協議会では学校適正配置（案）を選択しない意見が大勢を占めていることや各団体の意向を再確認していただき、次回協議会で結論を出す方向性が確認されていることをお伝えさせていただく。最後になるが、次回第4回協議会は2月下旬開催を提案させていただく。司会に戻す。

〈司 会〉 事務局より、次回第4回地元代表協議会は2月下旬の開催が提案された。よろしいか。

〈委員一同〉 異論なし。

〈若松台3丁目
自治会長〉 地元説明会について提案させていただきたい。

この会を有意義とするため、14日の説明会において決を採るのはいかがでしょうか。説明会に出席しない人は特段意見がないと思うので、説明会に参加するほど関心が高い人たちで決を採れば保護者や未就学児の保護者、地域の間人、全ての意見が反映されることになるのではないかと。

〈事務局〉 取組に関心があるものの事情により参加できない方もいると思われる。説明会は、学校適正規模・適正配置の事業主旨や学校適正配置案に対する理解を深めること、本協議会の経過をお伝えすることが目的となる。よって、決を採ることは想定していないが、参加者の意見の吸い上げについては何か方法はないか検討する。
なお、最終的な地域の意見を取りまとめる場としてこの協議会が設置されていることを改めて確認させていただく。

（8）閉会

〈司 会〉 以上で「若松台小学校の学校適正規模・適正配置に係る第3回地元代表協議会」を閉会する。